

単元名 大きさをくらべ(2)

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 広さの比べ方や任意単位を用いた測定の仕方を理解し、広さを直接比べたり任意単位を用いて比べたりすることができる。
(2) 状況に応じて、比較する方法を考えることができる。
(3) 身の回りにある広さに関心を持ち、進んで比べようとする。

標準的な展開例

01040308_001

【準備等】 レジャーシート、場所取りゲームの記録用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 広さ比べをし、「ばしょとりゲーム」をする。[p. 158・p. 159]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ ひろさをくらべよう。 ○ 2枚のレジャーシートを重ねたり、端をそろえて並べたりして広さを比べる。 ○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 「ばしょとりゲーム」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重ね合わせて比べさせる。任意単位の間接比較へと学習を進める中で広さの概念を養う。 ・ グループまたはクラスの中で、ハンカチやレジャーシートの広さ比べなどを取り入れるのもよい。 ・ ペアで「ばしょとりゲーム」を行わせる。 【評】 重ね合わせたり、マス数を数えたりして比べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元では、直接比較や間接比較により、広さを比較することを学習する。量を測定するとは、量の大きさを数で表すことである。その表し方は、その量のある大きさを基準として、そのいくつ分かという数値で示すことであり、その基準の大きさが単位である。本単元では、量の大小比較を、直接比較から仲介物を使う間接比較へと発展させ、さらに共通の仲介物として任意単位による測定へと進め、単位の必要性へつなげるようにしている。さらに、第4学年での面積の普遍単位による測定へ発展していく。